

じんけんネット吹田 この1年

4 ※役員・常任委員会(4・7・11・2月)

5 ※総会・憲法と市民のつどい(5月)



憲法と市民のつどい
講師 藤木美奈子さん

5月22日(土)メイシアター中ホールにおいて、「どんな人生もいいものだ」～DV・虐待体験からの脱却～と題して、作家/NPO法人代表理事の藤木美奈子さんにご講演をいただきました。26年間にもわたる被暴力体験により陥った自分自身を含む人間不信から、どのように脱却し今の自分があるのかを詳しくお話いただき、思いが切実に伝わってきました。

また、アンサンブルLabによるジャズコンサート「ニューヨーク」～アジア人としてのアイデンティティ～では、ジャズが生まれた背景などのお話を交えながら年代別に曲を紹介され、わかりやすく力強い演奏でした。



『アンサンブル Lab』コンサート

6 ※協力企業部会活動(4月・6月)

※4月23日(金) 講演
「企業と人権」
講師 柳瀬 将さん



※6月18日(金) 講演
「採用と人権」
講師 岡 時郎さん



※地区委員会代表研修会(9月)

9月25日(土) 男女共同参画センターにおいて、地域における人権啓発の推進役を担っている代表さんを中心に42名の参加を得て、開催しました。

吹田市人権啓発推進協議会会長の山本冬彦さんに「吹田市人権啓発推進協議会の今後の取組みと課題」と題して、人権啓発をどのように考え、どのように進めるのかについてお話いただきました。

その後の情報交換会では、今年度の取組み・活動を進める上での課題等について3グループに分かれて活発な意見交換が行われました。



人権協啓発パネル製作委員会

パネル展示を通して、吹田市人権啓発推進協議会の活動を広く地域に広報するとともに、より多くの市民に人権についての様々な情報を提供し、一人ひとりの人権について考える機会を提供することを目的として、平成16年4月に役員・常任委員7人と事務局4人の計11人で構成された人権啓発パネル製作委員会を結成しました。(委員長 狩俣正雄 副委員長 村田紘一)

15のテーマに分け、文書・イラストの構成や内容の確認、検討を重ね、「さらにこうしてみてもはどうだろうか」と積極的に意見交換が行われ、11回にも及ぶ委員会の末、17年3月に完成しました。地区委員会等で積極的にご活用下さい。なお、ご利用の際は事務局までご連絡下さい。



「ハンセン病と人権」 堀井 隆水さん
「わたしの体験談」 川島 保さん



「部落問題の現状と課題」 住田 一郎さん



「セクシャルマイノリティーの人権」 土肥 いつきさん



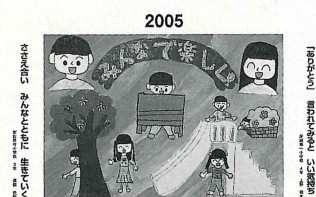
「共に生きる明日をめざして」 藤野 高明さん

4回にわたり各分野の専門の方々をお招きして、人権に関わる様々な課題について多くの市民の皆さんとともに学習しました。

※地区安全・青少年育成吹田市民大会(10月)

12 ※駅頭啓発活動(12月)

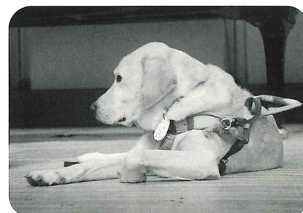
※人権フェスティバル(12月) ■■■■



2005人権カレンダー



チームアウローラ
(音楽を通じてバリアフリー交流を目的とした障害者中心の音楽集団)



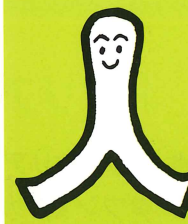
盲導犬(アイメイト)

発行/吹田市人権啓発推進協議会(吹田市人権部人権平和室内)

☎564-8550 吹田市泉町1-3-40

☎(06)6384-1231(代) 内線2598 FAX(06)6368-7345(直通)

(再生紙を使用しています)



吹田市 人権協だより



じんけんネット吹田

No. 18

平成17年(2005年)3月

2004 人権フェスティバル

バリアフリートーク&コンサート「心のあけぼの」チームアウローラ

会場：メイシアター 中ホール



チームアウローラの演奏



チームアウローラの講演

ごあいさつ

本年度より人権協の会長を仰せつかりました山本です。21世紀を迎え、地域社会で私たちが共に生きていくためのさまざまな新しい課題の前に、私たちは今、改めて立たされているといえます。子どもの育ちをめぐる問題、暴力や虐待をめぐる問題、若い人たちの社会参加の問題、情報社会の中でのプライバシーをめぐる問題、高齢者の福祉をめぐる問題…。しかし、どんなに社会が変化しても、人間はお互いに支え合うことでしか生きていくことができません。

人権協がこれまで行ってきたさまざまな啓発活動の成果の上に、人権の確立を基軸とした新しいコミュニティづくりのための活動を続けていきたいと思っています。みなさんどうかよろしくお願いします。



吹田市人権啓発推進協議会
会長 山本 冬彦



(南山田・山五地区委員会)

「山田の夏祭り」

昨年末の奈良県の子供児童殺害事件は、地域のあり方を考えさせられました。南山田地区は、4年前から、地域教育協議会を中心に、地域で子どもを守る地域づくりを目的として『山田の夏祭り』を始めました。8月21日（土）に各自治会、PTA、体育振興会、子ども会等の各団体が、盆踊りのやぐらを中心に、「もちつき」や「焼きそば」「輪投げ」などのゲームコーナーを準備しました。小さな子どもを連れた家族を中心に6,000名以上の参加がありました。

人権協南山田地区委員会として人権啓発コーナーを設置し、ユニセフの人権パネルを掲示したり、人権協のパンフレットを配ったりしました。子どもの権利条約の手話トランプは、好評でまたたくまに品切れになってしまいました。来年度はどんなコーナーを準備しようかな。

(南山田地区委員会 村田 紘一)



(山三地区委員会)

「現代の子どもと家庭関係を考える」 ～川本俊永先生をお招きして～

山三地区委員会では、10月15日（金）に山田第三小学校において、同校PTAと共催で川本俊永先生をお招きし「現代の子どもと家庭関係を考える」と題して講演会を催しました。

川本先生のお話は、母親として子どもとどの様に向き合うかを考えさせられる内容で、とても解りやすく子育ての中の保護者の方々に好評でした。中でも生まれた子どもが人として育てて行くためには、「1人で子育てしない」「地域が係わっていく」「大人同士が会話をして連携を取る」ことが大切であるとお聞きし、あらためて地域連携の重要性を認識し、地域連携を深めていくためにも人権啓発活動に、より一層の努力をしていきたいと思いました。

(山三地区委員会 水野 千恵)

「コリアタウン」見学会

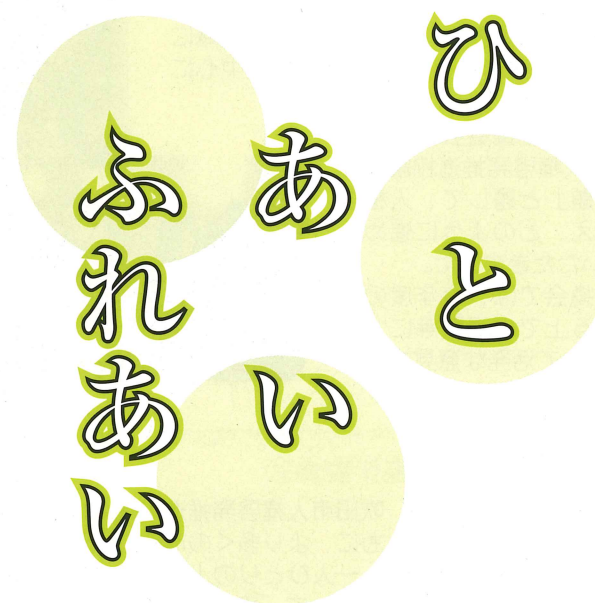
10月15日（金）に、大阪市生野区のコリアタウンを見学しました。日本の中の韓国といわれるほど韓国の文化が凝縮されているコリアタウンですが、生野区にコリアタウンが出来た理由は、労働者を受け入れる産業が多くあったからだそうです。この話からはじめて下さった講師の宋（ソン）さんは、在日3世であることや、日本に生まれた理由を淡々と話して下さいましたが、成長される過程で心の葛藤が随分あったことが伺えました。お話は政治面にも及び、拉致事件は絶対に許されないことや、納税の義務はあるのに参政権がないのは矛盾していることなど、在日外国人の権利が認められていないことを強調されていました。

講演後は、キムチ作りで韓国の食文化も体験しました。この見学をとおして、在日外国人に対する正しい理解を深められ、人権に対しても常に敏感であることの大切さを痛感いたしました。

(西山田地区委員会 佐々木 啓子)



(西山田地区委員会)



講演会「身近な人権について」

12月6日（日）に公民館と共催で吹田市人権擁護委員会委員長の小畑雄治郎さんに「身近な人権について」と題して、ご講演いただきました。

子育てや男女間のトラブルなどいろいろな身近な人権問題についてお話されました。中でも心に残ったお話は、一昔前の近所付き合いの話でした。「遠くの親戚より近くの他人」といわれるように向こう三軒両隣の人達が、お惣菜をとどけ合ったり、子育ての悩みなどを話し合ったりしてまるで家族のようにお互いに助け合って暮らしていました。希薄になった人間関係を取り戻す事こそ人権を守ることにつながるのではないのでしょうかと結んでおられました。

私たちも、共にふれあう輪を地域に広げていかなければならないと痛感させられました。

(吹一地区委員会 海藤 史朗)



(片山地区委員会)

コンサート 「針山憲夫のクラリネットファンタジー」

音楽は、人種や宗教や民族が違ってどんな状況の中でも、歌い続けられ、奏で続けられ、引き継がれていく力強さを持っています。

2004年10月23日（土）地域の生涯学習の場・片山地区公民館の文化祭時に「針山憲夫のクラリネットファンタジー」と題し、コンサートを開催しました。

クラリネットとピアノの演奏は聴く人の心にほっこりとぬくもりを呼びおこしてくれました。

そして針山さんのお話は「自分と違う人を理解すること。相手があるがままに受け容れること。」の大切さを考える機会を作ってくれました。

“人はどんな人も人であり、人に違いはない” …んです。

(片山地区委員会 畑中 たか子)



(吹一地区委員会)